



広報

みさぎ

町の規模		前月比
世帯数	1,868戸	(±0)
人口	5,209人	(-4)
男	2,423人	(-5)
女	2,786人	(+1)
(平成2年7月31日現在)		

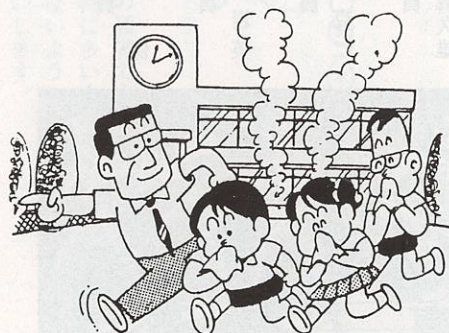
平成2年7月31日 No149
 発行 愛媛県西宇和郡三崎町
 三崎町役場 ☎54-1111 印刷
 編集 総務課 豊豫社

夏 真 盛 り



暑中お見舞申し上げます。
 暑い日がつづきます、
 健康に注意してください。

井野浦 長浜 海岸にて



防災週間 (8月30日~9月5日)



バイクの日(8月19日)



食品衛生週間
(8月6日~12日)



選手宣誓 三崎東分団 松本選手



審査員宣誓 山本副団長

より速くより正確に

三崎西分団一部優勝

自動車ポンプの部は

二名津分団雪辱

去る七月十五日(日)第三十三回三崎町消防操法競技大会が三崎小中グラウンドにおいて、行われ、練習量をほこる三崎西分団一部が他の分団を圧倒し、ただ一チームだけ七十点台をマークして優勝。

一方、自動車ポンプの部では

三回三崎町消防操法競技大会が三崎小中グラウンドにおいて、行われ、練習量をほこる三崎西分団一部が他の分団を圧倒し、ただ一チームだけ七十点台をマークして優勝。

去る七月十五日(日)第三十三回三崎町消防操法競技大会が三崎小中グラウンドにおいて、行われ、練習量をほこる三崎西分団一部が他の分団を圧倒し、ただ一チームだけ七十点台をマークして優勝。

第33回 三崎町消防操法競技大会成績結果表

小型ポンプの部			小型ポンプの部		
順位	分団名	採点数	順位	分団名	採点数
1	三崎西分団1部	73	16	名取分団1部	40
2	二名津分団2部	67	17	大佐田分団	36
3	三崎東分団2部	66	18	釜木分団	26
4	名取分団2部	62	19	松分団2部	24
5	三崎西分団2部	62	20	与修分団	21
6	三崎東分団1部	59	21	佐田分団	12
7	井野浦分団	52			
8	松分団1部	48			
9	高浦分団	47			
10	明神分団	46			
11	三崎西分団3部	45			
12	平磯分団	45			
13	二名津分団1部	44			
14	串分団	41			
15	正野分団	40			

ポンプ車の部		
順位	分団名	採点数
1	二名津分団	74
2	三崎東分団	69



操作はじめ



見事水出し成功

小型ポンプ 優勝の顔 自動車ポンプ

小型ポンプの部三崎西分団1部

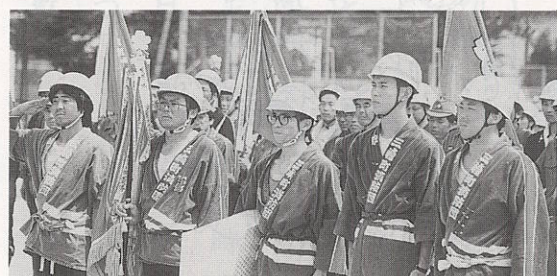
- 指揮者 小田鉄夫
- 一番員 中村敏彦
- 二番員 赤坂誠也
- 三番員 中村昭
- 補助員 船山英生

自動車ポンプの部 二名津分団

- 指揮者 橋本直人
- 一番員 平尾喜久雄
- 二番員 増田克仁
- 三番員 山西岩英
- 四番員 堀内保



小型ポンプの部 三崎西分団1部



自動車ポンプの部優勝 二名津分団



進まない船、海の色が変わる

七月五日未明、町内海域のいたる所で家柱や根のついたままの流木などが漂着し、漁業に支障が生じました。

集中豪雨のあった大分県竹田市から流れ出たとみられ、その被害のすごさがうかがえます。町内で最も多く流木などが、漂着したのは、与移地区で、漁港内には、海の色が変わり、漁船が動けない状態でした。

町は、さっそく流木除去対策本部(本部長、菊池町長)を設置し三崎漁業協同組合(組合長・村井健)と協力して、除去作業にかかりました。

同組合では、全漁民に出勤を要請し、宇和海・伊予灘沿岸に漂着している流木等の除去にためましたが、多量なため、全部除去にはいたらない状況です。回収作業に要した人員は千人に達し、回収量も五千㎡(与移地区を除く)を超え、作業日数

流木 沿岸にわんさ

も七月六日から九日間をついやし、その回収経費は一千万円を超えています。



重機による除去作業



海士さんも一役かって



エンヤコーラ 綱引きならぬ流木引き

いいいの広場に 花を咲かそう!

七月十二日、愛媛県(八幡浜 地方局県民生活課)の主催により、「花づくりあれこれ」と題して講義と苗植込の実技講習が、三崎地区の老人クラブ(四十人参加)によって行われました。講義は、八幡浜農業改良普及所稲田係長さんが、約一時間にわたって町民会館四階で……。その後、会場を総合体育館前のいいいの広場に移し、サルビア・マリーゴールド・ペチュニアの苗それぞれ百株が、植込まれました。八月の中旬には色とりどりの花が咲くことでしょう。



県(中央)職員の指導により、花の苗を植えこむ生徒(参加者)

海の子集會に

地引網でヨーイシヨ!

七月十七日、大佐田小学校(アジ・キス・タコを捕りました。井上正臣校長)は、PTAと合同で「海の子集會」を実施しました。同で「海の子集會」を実施しました。無事終了。

地区の網元さん(代表・宅見運保)の協力により、地引網が提供され、二十二名の児童全員が、父兄と力を合わせて、百メートルもある網を引き、タイ・かえしました。



バーベキューを楽しむ

脳卒中登録制度

発足のお知らせ

八幡浜中央保健所
三崎町役場(環境課)

高齢化社会の進展に伴い、近い将来脳卒中による寝たきりや痴呆老人の急激な増大が懸念されております。

脳卒中による寝たきりや痴呆化を予防するには、その原因となる脳卒中予防と適切な治療に併せて、脳卒中発症者に対し、保健指導、機能訓練、訪問看護等の一貫した地域ケアを推進する必要があります。

そのため、愛媛県では脳卒中登録を制度化し(平成二年七月一日施行)市町村の協力を得ながら、脳卒中の再発防止や、効果的なりハビリにより寝たきり痴呆化の防止を図ることにしました。

つきましては、医療機関等からの脳卒中発症者の通報に基づき、保健婦が訪問することになつておりますので、ご協力下さりますようお願い申し上げます。

脳卒中を克服する

脳の血管が破れたり、つまつたりして起こるのが脳卒中で、下のような種類に分けられます。脳卒中は、高血圧・動脈硬化のある人に起こりやすいため、定期的な血圧測定や血液検査・眼底検査でそれらをチェックす

★定期的な血圧測定 (最低一か月に一回)と、動脈硬化チェックのために血液検査・眼底検査を。
★寒さに注意。暖かい室内から寒い戸外へ出るとき、風呂の脱衣所やトイレなどの暖房の暖房などに配慮を。
★便通をととのえる。便通のとき大きくいきむと血圧は一気に上昇し、脳卒中のきっかけになる。そのため、繊維の多い食物をとって便秘を避ける。トイレは、洋式のほうが排便時の血圧上昇が少ない。
★減塩、動物性脂肪を避ける。
★ふとんは軽く、枕は低く。重いふとんは心臓を圧迫、また、枕が高いと首のけい動脈を屈曲させて血圧を高め、いず

●脳卒中を防ぐ日常生活



これも脳卒中のひき金に。ただし、長くつかつてのぼせ



夏のいるどり



浜の香りを漂よわせて ハマユウ一咲く

ボケを防ぐために

ボケは予防できる!

老人ボケは、脳の老化や脳血管障害のような病気により、またこれに環境の影響が加わっておこると考えられています。ですから、ボケを防ぐには、この2つの要因を取り除くことが大切です。



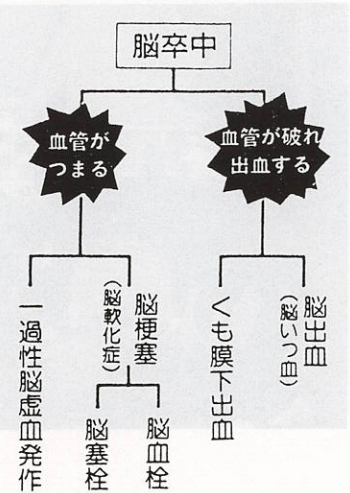
ボケを予防する7か条

- ①高血圧、動脈硬化を防ぐ
- ②書道や盆栽などの趣味をもつ
- ③学び続ける姿勢をもつ
- ④人とのふれ合いを大切に
- ⑤定期的健康診断を受けよう
- ⑥バランスのとれた食事を
- ⑦毎日、適度な運動を

老人性痴呆疾患センターの利用について

県立中央病院の「老人性痴呆疾患センター」では、痴呆性老人に関する専門的な医療相談、鑑別診断などを行っています。痴呆性老人に関する相談は、精神保健センター、各保健所、高齢者総合相談センター、市町村、福祉事務所及び医療機関などでも行っていますが、老人性痴呆疾患センターは、これら機関からの紹介により、専門的な医療相談に応じるものです。当センターの利用を希望される方は、緊急時を除き、まず保健所、又は役場環境課に相談して下さい。

●おもな脳卒中の種類



三崎選抜圧勝

第2回 姉妹町交流試合

7月22日(日曜日)第2回姉妹町交流試合(女子ミニバスケット)が町総合体育館で、佐賀関小学校(スポーツ少年団)、二名津小学校(7名)、大佐田小学校(3名)、三崎小学校(5名)の4校が参加して行われた。

開会式では佐賀関チームから手作りのキーホルダー等が、選抜チームに贈られ、意義ある行事の幕開けとなりプレイボール。

試合は交流試合とあって、今一つ盛り上がりにかける内容であつたが、2試合とも選手は一生懸命にプレイし応援団の拍手をあびていた。

試合後、井野浦の長浜海岸に会場を移し、交流会を開き友好の輪を広げると同時に「秋にもう一度会いましょう」を合言葉に別れを惜しんだ。



どちらのチームの手に



交流試合開会式 (左が佐賀関チーム)

町を美しく、三千人参加

七月二十一日、三崎町社会福祉協議会(会長・菊池功)の呼びかけにより、一日ボランティアが昨年に引き続き、町内全域で行われました。参加者は老人から子供まで

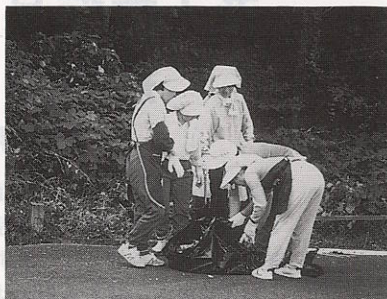


子供達も草刈に汗する

高校生も玉の汗

去る七月十二日午後一時から三崎高校でも、三崎大川や、国道の緑地帯を清掃奉仕しました。同校(大西邦彦校長・生徒数二百八十九名)は、旧校舎(昭和六十三年度以前)時代から、同河川の清掃を中心に奉仕活動をして額に汗していた。今年も先生・生徒全員参加のもと、町のクリーン運動にさきがけて実施し、防災及び環境美化につとめた。

草刈や、空缶拾いに、暑い夏の一日、汗した人がなんと三千人を超えて、町内の道路や広場が、見違えるほどクリーンになりました。



国道の空缶拾いに汗する



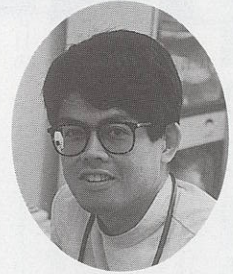
海岸の草刈に汗する



診療所の先生紹介

二名津診療所・申診療所の先生が7月より、新しく赴任され地域医療にはげまれています。二人の先生に抱負を伺いました。

親しまれる診療所に



川本龍一先生

「家庭医機能が望まれています。住民の皆様が気軽に受診し、相談のできる身近な診療所になりたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。」

川本龍一

愛媛県松山市出身
昭和35年1月20日生れ
趣味 映画鑑賞・水泳
家族 妻・長女

この度二名津診療所に勤務することになりました。これまで山間部の病院に勤務していましたが、今回美しい海に面した人情味豊かな当地への赴任に大変嬉しく思っております。現在、医療の高度化、専門化が進む一方で、家庭などの生活背景を把握して全人的に対応す

信頼される医師をめざして



近藤由美雄先生

「なのですが、逆に医者と患者の関係が疎になりがちといわれています。このような社会において地域に根づいたプライマリケア（一次医療）の重要性はさらに増してきています。」

近藤 由美雄

愛媛県松山市出身
昭和38年1月3日生れ
趣味 テニス・スキー・ウインドサーフィン・キャンプ
・サイクリング・ピンポン・釣り・素潜り。

三崎町申診療所に、7月16日付けで勤務させて頂いております。以前よりキャンプや釣りでお世話になっており、それだけに、三崎町に親しみを感ずります。このような機会を与えられ大変光栄に思っております。さて、医療技術は日々急速に進歩しており、大変喜ばしい事

都築・浜西

両氏再任

六月二十六日開会された第二回町議会定例会において、人権擁護委員の推薦については、原案どおり適任と認められました。二名津出身の浜西善男氏は、今回三期目。



都築文之氏略歴

- 昭和四十三年三月 三崎村立三崎尋常高等小学校卒業
- 昭和四十四年四月 三崎町消防団長就任
- 昭和五十二年九月 三崎町農業協同組合理事就任
- 昭和五十四年三月 三崎町消防団長退任
- 昭和五十四年九月 三崎町農業協同組合理事退任
- 昭和五十五年三月 三崎町選挙管理委員会委員就任
- 昭和五十八年八月 三崎町人権擁護委員（一期目）



浜西善男氏略歴

- 昭和二十三年三月 神松名中学校卒業
- 昭和四十九年四月 三崎町第十分団長就任
- 昭和五十二年三月 三崎町第十分団長退任
- 昭和五十四年四月 三崎町農業協同組合理事就任
- 昭和五十四年九月 二名津小学校P・T・A会長就任
- 昭和五十五年三月 二名津小学校P・T・A会長退任
- 昭和五十八年四月 二名津中学校P・T・A会長就任
- 昭和五十八年九月 愛媛三崎町農業協同組合理事退任
- 昭和五十九年三月 二名津中学校P・T・A会長退任
- 昭和五十九年八月 三崎町人権擁護委員（一期目）
- 昭和六十二年八月 三崎町人権擁護委員（二期目）

NHK

「ひるの散歩道」

盛會に終る

七月二十日(金)総合体育館の落成を記念して行われた、NHK「ひるの散歩道」の収録が、あっという間に無事終了しました。午前六時頃から入場を待つ人が数人。

一方、町外からの参観者も二百人を超す人気。当日の入場者数は、千五百人を越し盛況でした。

歌手の松山恵子さん、大川栄策さん、牧村三枝子さん、それぞれ熱唱で会場内は熱気がムンムンと三崎良い所と言葉して帰りました。



大川栄策さんのリハーサルより

三崎出身の都築文之氏は二期目にあたります。皆さんのなかで、人権を侵されたり、侵されそうになった方は、委員さんにお気軽に御相談ください。今後よろしく願っています。

三崎小2年連続V

七月十四日(土) 三崎町スポーツ少年団ソフトボール大会が三崎小中グラウンドにおいて、午前十時プレイボール。

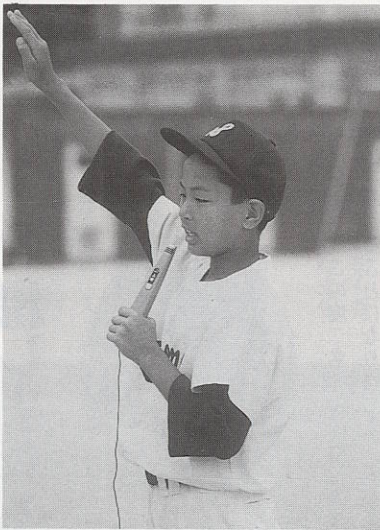
試合は昨年より一チーム少ない、四チームの参加で、リーグ戦によって行われた。

戦前の予想どおり三崎小が、他の三チームに圧勝し、三戦全勝で2年連続優勝。

三崎小の対抗馬として注目された正野小は、一回戦でいきなり三崎小と対戦。15対3の大差で破れ準優勝で終わった。

過去は、七チームによって優勝旗の争奪があったが、近年児童の減少により参加チームが減少し、大会運営がきびしい状態となっている。

今大会では参加チームの中で一番児童数が少ない、大佐田小チームの各試合での健闘が光った。



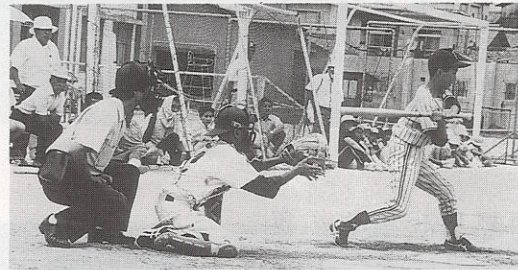
堂々の選手宣誓
正野小 谷村主将



私だって、ナイスバント。



打てるものなら打ってみな



ウーン、ボールカストライクか



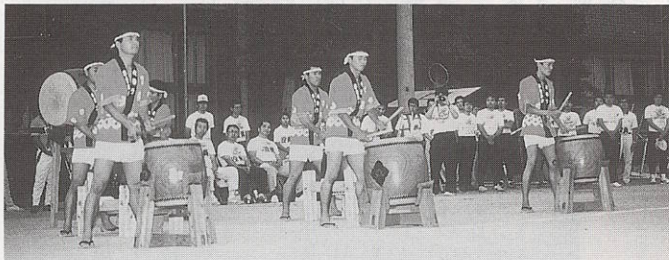
試合前の石コロ拾い。

第1試合	Aコート	二名津小	300100
第2試合	Aコート	大佐田小	526200
第3試合	Aコート	正野小	312010
第1試合	Bコート	三崎小	321222
第2試合	Bコート	正野小	000300
第3試合	Bコート	大佐田小	421000
第3試合	Bコート	二名津小	2000
第3試合	Bコート	三崎小	5010
		15	15
		2	7
		10	3
		15	14
		5	7
		4	15
		4	4



2年連続優勝の三崎小

速水太鼓で勇気づけ



7月13日、八幡浜高校創立90周年を記念して、国道197号線を歩く「ミッドナイトウォキング」が行われました。

午後7時より三崎小・中学校のグラウンドで出発式が行われ、串地区の青年が組織する、速水太鼓の応援出演により、歓迎と激励。和太鼓の響きに、参加した1500人の人々も勇気づけられたが、翌朝、全員40キロを完歩しました。

夏の味覚ウニ解禁!

7月22日、パフンウニ(ウマのクソと呼ぶ所もある)が、昨年より2週間遅れで解禁となり、沿岸のいたる所で海女の姿が目につきます。

採捕したウニは、三崎漁業協同組合に出荷する人、お盆等の帰省客に、おみやげ用として、自家加工(瓶詰)するなど、用途が広い。

同組合に出荷されたウニは、加工場で瓶詰にし、県内外へ市販。「三崎のウニ」として好評です。ちなみに昨年は26,500本売れました。



ウニの採捕に



加工されたウニ

